

## WEB シンポジウム「災害研の減災デザイン・実装の成果と活動の展望」を開催しました (2020/11/30)

テーマ：防災・減災、プロジェクトエリア・ユニット制

場所：WEB 開催

2020年11月30日(月)午後2時から5時まで、災害科学国際研究所(災害研)は、感染予防に配慮したWEB会議方式によるシンポジウム、「災害研の減災デザイン・実装の成果と活動の展望」を主催しました。当研究所は、所内の部門・分野の枠を超え、地域のニーズに即した支援に取り組み、東日本大震災の教訓に基づいて今後の複合災害へ備え、仙台防災枠組にも貢献することを目指して、2016年4月に「プロジェクトエリア・ユニット制」を立ち上げました。

このエリアの一つ、「総合減災プロジェクト・エリア」は、国内外の地域と都市を対象として被害抑止策から復旧・復興活動に至る総合的な減災システムの提案を行うこと、及び、国内外の社会に対する総合的な減災及び復興システムについて研究し実装を図ることを目的に活動してきました。この目的のため、メンバーの防災研究に関するシンポジウムを毎年度、これまで4回開催してきましたが、来年度の部門再編のためエリア・ユニット制の最終年度となることから、これまで4年間の活動と今後の展望を内容とするシンポジウムを開催しました。

その内容と登壇者の方々は以下の通りです。

- 第1部
1. 開会挨拶、趣旨説明 (人間・社会対応研究部門 丸谷 浩明 教授)
  2. 総合減災プロジェクト・エリア メンバー代表からの発表
    - ① 東日本大震災復興支援 (情報管理・社会連携部門 平野 勝也 准教授)
    - ② 人材育成(学校・医療・地域等) (情報管理・社会連携部門 佐藤 健 教授)
    - ③ 国際復興・防災支援 (人間・社会対応研究部門 井内 加奈子 准教授)
    - ④ 企業・組織の事業継続 (災害医学研究部門 佐々木 宏之 准教授)
    - ⑤ 防災技術 (災害リスク研究部門 五十子 幸樹 教授)
- 第2部
1. 発表を踏まえたコメント (司会 丸谷 浩明 教授)
    - ① 坂 茂 慶応大学教授 (地域・都市再生研究部門 特任教授(客員))
    - ② 武田 真一 宮城教育大学特任教授 (当研究所 学術研究員)
    - ③ 今村 文彦 当研究所 所長
  2. ディスカッション (進行:丸谷 浩明 教授)
    - 1の登壇者の皆様、災害研総合減災プロジェクト・エリア メンバー
  3. まとめ・閉会挨拶 (地域・都市再生研究部門 村尾 修 教授)

このシンポジウムには、北は北海道から南は九州まで、WEB方式ならではの幅広い地域から100名を超える方にご参加いただきました。第1部の発表では、各テーマに関わる複数のメンバーの活動を紹介し、社会実装の例を示すとともに、他のエリア・ユニットとの横断的な研究成果も重点的に紹介しました。続く第2部では、当研究所の幅広い防災研究・活動との連携への期待、国際比較を踏まえた仮設住宅制度見直しの研究の必要性、地域から信頼を得ている当研究所の活動の評価と責任、市民との連携の一層の展開の必要性などのコメントをいただきました。また、今村所長からは、当研究所設立の経緯からエリア・ユニット制の立ち上げ、そして今後の活動まで幅広い説明と将来に向けた意思表示がありました。

当研究所は、来年度の部門再編で、3つの研究部門、1つの防災実践部門の体制となります。東日本大震災発生後10年の節目を経て、研究及び実践のさらなる展開をめざしています。

文責：丸谷 浩明(人間・社会対応研究部門)

(次頁へつづく)

### ⑥地域防災リーダーの人材育成(1)

#### 『仙台市地域防災リーダー(SBL)』養成

- 事業主体: 仙台市
- 2012(平成23)年度から養成開始(テキスト作成、講義担当)



地元から顔の見える防災リーダーによる防災活動

仙台市まちづくり政策局防災環境都市・震災復興室ウェブサイトより引用



仙台市地域防災大内幸子さん

主催: 東北大学災害科学国際研究所・仙台市

平成29年度 ともに考える防災の未来 私たちの仙台防災特組講座シリーズ



講習会の様子

年度	受講定員
2012	50
2013	150
2014	200
2015	200
2016	50
2017	50
2018	100
2019	100
2020	0※
計	900

※COVID-19のため

Takeshi Sato, Aiko Sakurai, Yuki Sadaike, Yukiko Ouchi and Yasuo Sugawara: Sustainable Community Development for Disaster Resilience Using the Fukuzumi-Machi Method and Human Resources Development for Disaster Risk Reduction, Journal of Disaster Research, 15(7), 2020. (in print)

佐藤教授の発表資料

### 東北大学病院BCP初版制定(2017年11月1日)

国立大学法人東北大学  
東北大学病院

**防災・業務継続計画**  
(略称: 病院 BCP)  
第 1 版

平成 29 年 11 月  
東北大学病院

Abstract | 3rd Mar. 2020, 2PM, 141/27

Scoping Review for the 100<sup>th</sup> Anniversary of the IIRSM

Scoping Review of Hospital Business Continuity Plans to Validate the Improvement after the 2011 Great East Japan Earthquake and Tsunami

Hisayuki Inoue,<sup>1</sup> Hisayuki Maruyama,<sup>2</sup> Yukiko Ouchi,<sup>3</sup> Masaru Fujita,<sup>4</sup> Hajime Furukawa,<sup>5</sup> Yukiko Fuku,<sup>6</sup> Eisaku Kamei,<sup>7</sup> Nobuo Sugawara,<sup>8</sup> Tetsu Hasegawa,<sup>9</sup> and Shiroshi Egami<sup>10</sup>

<sup>1</sup>Division of Environmental Science and Disaster Medicine, International Research Institute of Disaster Science, Tohoku University, Sendai, Miyagi, Japan

<sup>2</sup>Division of Disaster Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan

<sup>3</sup>Department of Disaster Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan

<sup>4</sup>Department of Disaster Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan

<sup>5</sup>Department of Disaster Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan

<sup>6</sup>Department of Disaster Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan

<sup>7</sup>Department of Disaster Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan

<sup>8</sup>Department of Disaster Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan

<sup>9</sup>Department of Disaster Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan

<sup>10</sup>Department of Disaster Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Miyagi, Japan

During a disaster, all hospitals are expected to function as "social critical infrastructure" that protect the lives and health of patients. In recent disaster, numerous hospitals were damaged, and this triggered the necessity of the detailed evaluation. This paper reports the scoping review of hospital BCPs to examine the status of the development of BCPs in disaster-stricken areas.

【発表要約】災害発生時に、すべての病院は「社会的基盤施設」として、人命の保護と患者の健康維持に貢献し、業務継続計画(BCP)の重要性が改めて認識されることとなった。近年の災害発生により、多くの病院が被害を受けた。この状況を踏まえ、被災地の病院BCPの現状を把握し、その改善に向けた取り組みを支援することを目的として、被災地の病院BCPに関する文献を調査した。本論文は、被災地の病院BCPに関する文献の調査結果を報告するものである。

【キーワード】BCP、災害、病院、被災地、社会的基盤施設

【お問い合わせ先】Hisayuki Inoue (hisayuki@disaster.sci.tohoku.ac.jp)

佐々木准教授の発表資料

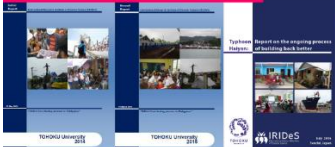
## 1. 総合減災プロジェクト・エリアメンバーの活動

### 1. IRIDeS災害緊急調査(海外)とフォローアップ活動

#### 2013年フィリピン台風(台風30号、台風ハイアン)

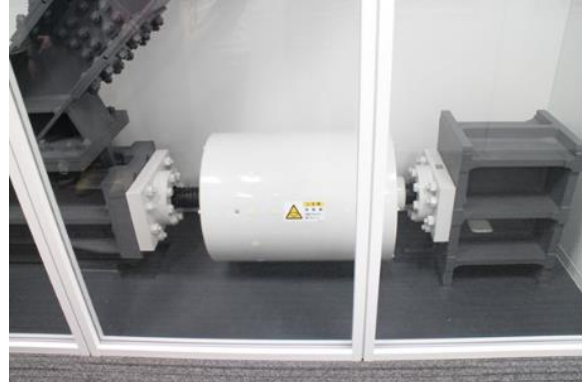


災害緊急調査レポート(2014-2016)



【関係教員等(レポートより抜粋)】  
今村、真野、越村、後藤、ブリッカー、マス、菅原、ローバー、奥、安田、色本、杉浦、井内、野内、マリ、村屋、田所、花岡、竹内、イ、桜井、岩崎、江川、服部、富田、チャガン・ヤスタ、白澤、佐々木、小野、泉、松本、久利、佐藤、阿部、福谷、杉安、地引、サツバシ、鈴木 (敬称略)

井内准教授の発表資料



五十子教授の発表資料